

2018日本史B(久下)授業プリント古代17 武士の登場

3年 組 番 _____.

[月 日]

武士の登場 武士(兵)^{つわもの}…職業的戦士身分 武芸に優れ軍事警察を担当する家柄

兵の家を形成：主人—^{いさのみ}1家子—^{ろうどう}2郎党—下人・所従^{しよじゅう}(奴隷的)
↓ ↓ ↓
一族 家臣 家人・^{らうどう}3郎従とも

背景 律令体制の崩壊 → 国家の軍事警察力の弱体化 → 武装が必要 → 各地で紛争

＜例＞ 税の運搬 ↔ 山賊・海賊 国司 ↔ 地方豪族

⁴土着した軍事貴族などを⁵棟梁に、より大きな⁶武士団を形成

↓ 国司などで地方へ赴任し、任期終了後も都へ帰らない

＜例＞⁷桓武平氏(高望王から)、⁹清和源氏(経基王から)

↓ 軍事警察機能を担当 ※国司や朝廷と対立することも。

・「¹¹侍」として上級貴族を警護 ＜例＞¹²滝口の武士(武者)…9世紀末(宇多朝)～

・各地の内乱鎮圧や犯罪者逮捕に 宮中(清凉殿)の警護

＜例＞¹³押領使(9世紀～)、¹⁴追捕使(10世紀～)、追討使など

10世紀の内乱 ¹⁵(承平・)天慶の乱[¹⁶935～41]…朱雀朝 藤原忠平が摂政関白

(東) ¹⁷平将門の乱[935～40]…一族の内紛(将門 ~~×~~ 国香)から

→¹⁹下総国 猿島^{さしま}を本拠に反乱 国府を襲撃・関東全域を支配 ²⁰を自称

→²¹平貞盛(国香の子)・²²藤原秀郷(押領使)が鎮圧

(西) ²³藤原純友の乱[939～41]

↓ もと²⁴伊予掾^{じょう}→土着→伊予国 ^{ひぶりしま}²⁵日振島を本拠 瀬戸内海^{ひぶりしま}の海賊を率いる

国府・大宰府を襲撃 →²⁶源経基・²⁷小野好古(追捕使)が鎮圧

意義 ²⁸中央の貴族が地方武士の実力を認識する契機となった

※²⁹清和源氏が摂関家に接近

＜例＞³⁰源満仲(安和の変) ³¹源頼光・³²頼信(道長に近仕)

参考 実力社会の到来?…平将門の言葉(『将門記』)

今の世の人、必ず撃ち勝てるを以て君と為す。たとひ我が朝に非ずといえども、みな人の※国に在り。去る延長※年中の大赦契王のごときは、正月一日を以て渤海国を討ち取り、東丹国※と改めて領掌するなり。

※みな人の国=他国 ※延長=922～931年 ※東丹国=契丹のこと

11世紀の戦乱 ※33刀伊の入寇 [341019] …刀伊=35女真族(人)が北九州を襲撃 (→古代14)

→大宰権帥^{ごんのそち}36藤原隆家(伊周の弟)の活躍で撃退

(1) 37平忠常の乱 [381028～31] …国衙(国府)襲撃など 房総半島一帯の荒廃

→38源頼信 (甲斐守・追討使)が鎮圧 **結果** 源氏は39東国へ進出、平氏は40西国へ(伊勢平氏)

(2) 東北での戦乱 …41俘囚^{ふしゅう}(朝廷に服属した蝦夷)自立の動きと、勢力拡大を狙う源氏

① 42前九年合戦 [431051～62] …44安倍氏(45陸奥の俘囚の長)が挙兵

…46安倍頼時・貞任・宗任、藤原経清(頼時の娘婿)

→47源頼義・48義家父子が、49清原氏の協力で鎮圧

…陸奥守 兼 鎮守府將軍

…50出羽の俘囚の長 51清原武則^{たけのり}ら

→53安倍氏滅亡→清原氏が奥羽全域に勢力

② 54後三年合戦 [551083～87] …56清原氏の内紛 ※都では院政が始まる

→57源義家(陸奥守)が介入→58藤原(清原)清衡が勝利

…藤原経清が実父 母は安倍氏→清原武則の妻に

結果 (a) 59奥州藤原氏の繁栄 …60清衡・61基衡・62秀衡の3代100年(～1189)

63平泉[岩手]を本拠に 64馬と砂金で財をなし、独自の勢力を形成

寺院建立(65中尊寺・66毛越寺^{もうつじ}・無量光院)

(b) 67源氏(特に義家)の地位の上昇 ※「同じ源氏と申せども八幡太郎は恐ろしや」

義家の参戦は朝廷の許可なし(私闘扱い)→陸奥守解任 恩賞なし→自費で部下に恩賞→高まる人望

→義家への荘園寄進の集中(→禁止)…→68白河院、院昇殿を許す(1098)

正誤問題練習 <大学入試センター1992年追試験、1991年本試験>

①陸奥国に赴任した源頼義は、東国の軍勢を率いて清原氏と戦い、これを滅亡させた。

②平将門は、桓武平氏の一族で、陸奥の清原氏とともに東国で反乱を起こしたが、鎮圧され、以後源氏が東国に勢力を持つようになった。